

大平藤岡地域委員会 平成24年度活動報告 副委員長 井木澤 稔



昨年6月に、新生栃木市国際交流協会の大平地域及び藤岡地域で活動する委員会として発足しました。旧大平町においては11年余り活動した国際交流協会がありましたが、市町合併後の機会に他の協会とともに合併統合しました。

さて、本年度の委員会活動は大平地区体育祭への参加や世界の料理交流会の主催で、主に大平地域においての事業となりました。

昨年10月の体育祭では、中国、インドネシア、ペルーなど多くの国々の栃木市にお住まいの方々や、交流協会員、さらには体育祭参加の市民と玉入れ競技を楽しみ、昼食をはさみ秋晴れに恵まれた一日を過ごしました。また、旧大平町国際交流協会では恒例だった世界の料理交流でしたが、本年3月の交流会では初めてのベトナム料理で、米粉の麺や生春巻きづくりに挑戦しました。出来上がったおいしい昼食後、参加した皆さんからの感想などを織り交ぜ、和やかな時間を過ごしました。今後も、大平と藤岡両地域の多くの皆さんが参加できる地域委員会として、活発な交流活動を目指したいと考えています。

都賀西方地域委員会 平成24年度活動報告 委員長 中村 好江



今回は初めて、この誌面に載せていただくことになりました。都賀西方地域委員会です。国際交流協会がなかった西方地域の方々も加入して、30名でスタートしました。つが盆や夏休み子どもフェスタに模擬店をだし、牛丼やバーガーなどを楽しく一緒に作り販売しました。

国際交流のつどいは、旧栃木市の協会と同じ回数を重ねてきましたが、何度も都賀西方地域のメンバーと打合せし、新鮮な発想やアイデアが生まれ、つがにしかた地域「第1回国際交流のつどい」を11月25日に開催することができました。食文化交流では、タイのヤムウンセン、中国のワンタンスープ、バングラデシュのチキンカレーなど提供し、芸能文化では、ギニアの太鼓、アフリカダンス、よさこいなどを披露していただきました。予想を上回る来場者で、料理が後半不足気味だったのは反省点です。同じ栃木市になった今、いろいろな方々と知り合い、交流できてよかったと思っています。

今後の予定としては、日にちは未定ですが、いちご狩りを計画しています。